

通信制高校を卒業して入学する皆さんへ

神奈川工科大学では、130名の通信制高校を卒業した学生が日々学んでいます。

1. 日々の生活を支える充実の学生サポート

学生一人ひとりの成長を大学全体で協力して丁寧に見守っています。

日々の授業だけでなく、友人との出会いや新しいフィールドへの挑戦など、大学生活は社会に飛び出す前に人間として大きく成長するための時間ですが、同時に、乗り越えるべき壁や困難に直面することもあるでしょう。そんな時、神奈川工科大学は、あなたをサポートし、一緒に困難を乗り越えるための強い味方となってくれるはずです。勉強の支援、体の不調、心の不安、生活でのトラブルなど、それぞれの専門家が対応するサポート施設を用意しています。

学生サポート室 (キャンパスライフ相談窓口)	学生相談室	基礎教育支援センター
		
学生生活のあらゆる悩みに対応する窓口として、面談やメール相談、電話相談、障害学生支援、必要に応じて他のサポート施設とも連携。多欠席学生や成績不振学生には、ご家庭や教員とも連携して支援します。	大学生は悩むことも多くメンタル面を崩しがちです。臨床心理士が、健やかな学生生活を送れるように、メンタルケアを実施。内容に応じて学内の窓口や教員、学外機関の紹介に加えて、保護者からの相談も受け付けています。	数学・物理・化学・生物・英語といった基礎科目に加えて、文章指導ついて、教員が個別指導で丁寧にサポート。高校での学習範囲から専門基礎科目の入門部分まで、学部・学科/学年を問わない全学生が、予約なしで利用できます。
困りごと相談所	KAIT pia (カイト ピア)	健康管理室 (保健室)
		
身の回りで発生する法律を含めたさまざまな「困りごと」に、警察OBを含む経験豊富なベテランスタッフがサポートをします。トラブルの内容によっては、警察署、消費生活センターなどの専門機関への橋渡しなど、学生生活で生じる「困りごと」を受け付けています。	KAIT piaは学生同士が支えあい、学生生活をより豊かにしていくための支援団体です。新入生が互いを知り、大学生活を送る上で助け合う関係を構築するために親睦会の開催や学習のことから日々の不安なことまで様々な相談の受付等を行っています。	キャンパスで体調不良や怪我が起きた場合はもちろん、日々の健康に関する相談にも看護師が対応します。細かな診療の必要がある場合は、近隣の医療機関への紹介を行います。また、インフルエンザ予防接種に加えて、視力や血圧測定などの利用も可能です。

入学後、相談先に迷ったら、「学生サポート室(キャンパスライフ相談窓口)」を遠慮なく、ご利用ください。
開室時間及び場所については、入学後に配付する「Campus life Guide」を参照ください。

2. 神奈川工科大学での学びのポイント

神奈川工科大学では、学生の自由な活動を支えつつ安心して学べる環境を用意しています。
そのなかで、学びのポイントを紹介します。

① 朝の授業は、9時30分スタート

授業期間中における朝のスタートは、1限(1時間目)は、9時30分からの1コマ100分授業です。

入学前からの生活リズムを整えることで、朝からの授業にもしっかりと臨むことができます。ちなみに、曜日毎の授業スケジュールにより、2限(2時間目)11時20分からの開始や、3限(3時間目)13時40分からの開始になることもあります。

② 授業への出席は、とても大事

神奈川工科大学では、前期(例年:4月から7月末頃)・後期(例年:9月中旬から翌年1月末頃)の2学期制で、多くの授業が14回(一部、7回授業や28回授業あり)で構成されています。そのなかで、学則(高校での校則に相当)にて、単位取得においては、2/3以上(14回授業にて10回以上)の出席をルール化しており、授業への出席を重要視しています。そのため、14回授業にて1/3を超える5回欠席の場合は、単位を修得することが出来ませんので、授業は、全回出席することを前提に体調を含めたスケジュール管理に努めてください。

③ 学びを豊かにするための「初年次初頭教育」

神奈川工科大学における特徴として、スムーズな大学生活をスタートしてもらうため、早期教育として入学直後の4月の集中的に講義(工学部と情報学部のみを対象)である「初年次初頭教育」を実施します。

これらにより、大学生活にて、いち早く馴染んでいくための力や、自ら積極的に学んでいくための意欲を身につけます。

3. 在学生メッセージ



不安を解消しながら楽しい大学生活を送れる

創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 (現:工学部電気電子情報工学科)所属

S さん

高校の先生から「将来無くなる職業と残る職業を考えるべき」という言葉に影響を受け、理系分野への進学を決意し、神奈川工科大学への入学を決めました。オープンキャンパスで微積分や三角関数の重要性を知り、それらを重点的に学習しました。入学後は「基礎教育支援センター」に通い、学科の先生にも気軽に質問できたため、学力面での不安を解消しながら、充実した大学生活を送ることができています。

4. 通信制高校からの入学実績

工学部 48名	情報学部 71名	健康医療科学部 11名
鹿島学園、NHK学園、中央国際、クラーク記念国際、屋久島おおぞら、一ツ葉、つくば開成、飛鳥未来きずな、日々輝学園、東日本国際大学附属昌平、厚木清南、星槎国際、ルネサンス、高松中央、松陰、日々輝学園、わせがく、盛岡中央、N、鹿島朝日、自然学園、飛鳥未来、千葉大宮、日本航空、静岡中央 等	クラーク記念国際、鹿島朝日、NHK学園、屋久島おおぞら、鹿島学園、中央国際、横浜修悠館、科学技術学園、東海大学附属望星、星槎国際、第一学院 高萩校、日本航空、N、日々輝学園、聖パウロ学園、開志学園、S、水戸平成学園、翔洋学園、八洲学園、わせがく 等	N、屋久島おおぞら、星槎国際、クラーク記念国際、甲斐清和、一ツ葉、目黒日本大学、厚木清南 等

主な出身通信制高校(順不同) いずれも、2024年9月現在 在学生

KAIT(カイト)は、神奈川工科大学のコミュニケーションネームです。